

IMAGINE  
ROTARY

Rotary  
RID2780



Rotary International District 2780

# ガバナー月信

2023年  
5月号 No.11

## 取り戻そう! 記憶に残る年にしよう!

IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY



小田原RC 姉妹クラブの京都南ロータリークラブとの集合写真



湯河原RC 湯河原駅前 ポリオ根絶募金活動



箱根RC クリスマス家族例会



小田原北RC 相馬ロータリークラブメンバーと共に



小田原城北RC ポリオデー募金活動



小田原中RC 職業奉仕移動例会



足柄RC グローバル奨学生との交流

IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY

2022-23年度国際ロータリー第2780地区ガバナー

佐藤 祐一郎

# クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区  
2022～23年度ガバナー

**佐藤 祐一郎**

(津久井中央RC)



5月は青少年奉仕月間です。

ローターアクトがRIの青少年奉仕部門から消え、いわゆるロータリーのプログラムではなくなりました。ローターアクトクラブはRIの正式な会員となり、ロータリークラブと共に行動しています。

これからの課題はそれぞれのクラブがロータリークラブに依存するのではなく、自立することだと考えています。

青少年部門では、各プログラムとも3年間コロナの影響で思うように活動できませんでしたが、ようやく通常の活動を取り戻しつつあります。

3月に青少年交換の研修旅行に同行しましたが、候補生達は、わずか数か月、数回のオリエンテーションの間にも著しい成長を見せ、其々の留学先での素晴らしい活躍と更なる成長が期待されます。

そのオリエンテーションや研修の実質的指導に当たってくれていたのが、青少年交換卒業生のROTEXです。コロナで来日学生も派遣候補者もない中、復活の日に備えてモチベーションを維持するために様々な積極的活動を続けてきました。チャリティコンサートを独自に開催したり、インターアクトのミーティングや米山奨学生の会合、ローターアクトの会合、ロータリークラブのイベントなどにも積極的に参加し、様々な青少年プログラムに横の連携をもたらす起爆剤となってくれたような気がします。

本年度の候補生達が青少年交換は語学研修ではなく、文化交流と友情であることを理解し、成長して帰国後素晴らしいROTEXになってくれることを期待しています。

インターアクトはそれぞれの学校に依存すること

が多く、活動がロータリークラブと乖離しているように思われますが、基本的には奉仕の理想、超我の奉仕と国際親善を掲げる点では目的を一にしています。

コロナの影響でほとんど何の活動もできずに卒業するインターアクターが出てしまった事は悲しい事でしたが、海外研修も復活し、これからは提唱クラブと学校、委員会が手を携えて活発な交流と活動を続けて頂きたいものです。

さて本年度は約20年ぶりにRYLA（青少年指導者養成プログラム）が復活します。3年前に企画があり、2年間委員会も勉強を続けて参りましたが実現できず、ようやく本年度小規模ながら第5グループIMに協力願うことで、第2780地区らしいプログラムにしようと準備しております。開催にあたっては第5グループの皆様、とりわけIM実行委員会と主催クラブの皆様には絶大なご協力を頂きました事、この場をお借りして感謝申し上げます。

これらの他にも米山奨学生、財団奨学生、平和フェロー等のプログラム卒業生には学友会組織があり、卒業後もロータリーの理念を共有し、ネットワークを築いています。ロータリーの様々な青少年奉仕プログラムは、むしろ卒業後を期待しているのだと思っています。学友はロータリーの宝物です。

米山奨学委員会では次年度から学友によるチューター制度を取り入れようと検討していますし、ROTEXも青少年交換制度を支えています。これらのプログラム出身のロータリアンやローターアクターも増えています。

提唱クラブ、カウンセラーを含む会員の皆様も、卒業後もコンタクトをとり、生涯の学友として、その繋がりを大切にしましょう。

## CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
第4グループIM	3
第3グループIM	4
第2グループIM	5
シュチェチンRCを通じたウクライナ発電機支援	6

青少年交換派遣候補生 京都研修旅行	7
地区インターアクトクラブ一泊研修報告	8
会長エレクト研修セミナー(PETS)報告	9
姉妹地区委員会 女性交流会	10
クラブ紹介(第9グループ)	11
社会国際奉仕委員会のリソースネットワークについて	14
新会員紹介 他	15



# 『第4グループ IM報告』

第4グループ

ガバナー補佐 **當 間 安 弘**

(茅ヶ崎中央RC)



2023年3月5日、寒川神社参集殿において茅ヶ崎中央RCを主管クラブとして、佐藤光茅ヶ崎市長、木村俊雄寒川町長をお招きし、三年ぶりのインターシティーミーティングを、開催いたしました。

ウクライナからの避難者が昨年4月18日に避難者支援団体の支援のもとに主管クラブの活動エリアである茅ヶ崎市に避難してきたことをきっかけに、ロータリアンができる限りの支援を行ってきました。一ヶ月後に茅ヶ崎市長との面談が叶い、茅ヶ崎市を上げての支援に移行していきました。その際のタウンニュースの取材を受ける中で、茅ヶ崎のみならず、寒川・綾瀬を含めて第4グループでこの支援の輪を広げたいと、ガバナー補佐として申し上げました。今回のIMで、「私たちが避難者の方のためになができるか」をテーマに開催することができましたのも、第4グループすべてのクラブのご理解の上にあります。

メインスピーカーには、セルゲイ・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使をお迎えし、ウクライナの現状、避難者の現状や日本に期待することなどをお話しいただきました。そして、避難者を中心にしたパネルディスカッションでは、避難に至る経緯を含めて地域の方への感謝の気持ちが語られました。その後、各テーブルで私達、個人個人ができる支援について話し合っていました。今、ウクライナに平和が訪れても、避難者が帰国できるまでにはどのくらいの期間がかかるのでしょうか。それどころか、まだまだ、耐乏生活を強いられているウクライナの方がいつでも日本に避難できるためには私達は何をすればよいのでしょうか？

ウクライナをテーマにするに当たり、支援のマフラータオルを作成してくれたり、また、代表的なメニューでもあるボルシチを懇親会で提供してくれたり、実行委員会のアイデアが満載でした。アトラクションでは、かわもとひろのぶ氏（茅ヶ崎RC）が、ロータリーイベント定番の歌「ポールハリスへの手紙」に加え、ウクライナ避難者への思いを込めた新作の「風に揺れても」（ぜひ、YouTubeで検索をしてみてください）を披露してくださいました。

今年度ジェニファー・ジョーンズRI会長のテーマでもある「IMAGINE」、一日も早く避難者が故郷に戻り、豊かな生活を取り戻すことを想像しながら、目の前では避難者をしっかり支援するロータリアンでありたいと思います。

三年ぶりのIMですので、主管クラブの堀川実行委員長を支える実行委員には、IMそのものを経験していないメンバーもいたかと思いますが、過去の資料を参考にしながらまた、経験談を聞きながら素晴らしいIMを企画していただきました。また、主管クラブのメンバーの皆様の当日の運営協力に心から感謝を申し上げ、以上報告といたします。



# 『第3グループ IM報告』

第3グループ

ガバナー補佐 永松 秀行

(藤沢南RC)



3月19日に第2780地区第3グループの3年ぶりのインターシティミーティングを開催いたしました。

当日は、フードリボンの橋本理事長をお迎えして、フードリボン事業についての説明をさせていただきました。

すぐそばで起こっていても表には出てこない貧困についての事をまずは認識して頂きそのことに対する取り組みについての講演でした。

いまの日本では7人に1人の子供たちが貧困の状態にいます。小学校だと1クラス35人とするとも5人の子供達が貧困と言われています。

問題が表面に現れにくいのは、親は、子供の服装など外見には気を付けるのに対し、家庭内の食事は元々外からは見えませんから、ここに皺寄せが来る、ということのようです。学校の先生たちの話では、夏休み明け等に休み前より痩せている生徒が何人か見受けられて、それで分かるということがあるそうです。

そして給食の時にパンなどを残して家に持って帰りそれを夕食に当ててる生徒もいるということです。

この問題は日本でも取り組んでる所は沢山ありますが、子供食堂等で1月に2回とか限定の日でしか出来ないのも、いま食事が欲しい人にはなかなか届

かず、また貧困を隠す為に子供食堂に行く事を躊躇う子供や親が沢山いる事も問題になってます。

そこで飲食業者に呼びかけて、いまの貧困の現状の話をして、子供たちが、参加店で無料で飲食できるようにするシステムがフードリボン事業です。フードリボン参加店で私たちがリボンを購入すると(一つ200円)、購入済みリボンは店内に子供たちのために掲示され、食事をしたい子供は、そのリボンを店内で200円の金券と同じように使って食事できます。参加してくれる飲食店、趣旨に賛同してリボンを購入してくれるお客さんが、どんどん増えています。

子供食堂と違うところは毎日使える事。そして誰でも来ていいという事で行きづらい事がなく安心して友達と食べに行けるところが違うところです。

そして第3グループでは地域の飲食店に声がけして1店舗はすでに参加して頂き今後3店舗参加予定になってます。

今後もこのフードリボンに取り組んでいき隠れた問題に対して少しでも役に立てるように進めていくというIMでした。

そして10クラブ合同例会と全体懇親会と3年ぶりに第3グループが一丸となり楽しいひと時を過ごしました。





# 『第2グループ IM報告』

第2グループ

ガバナー補佐 田中 哲

(鎌倉大船RC)



2023年3月21日、鎌倉女子大学大船キャンパスにて、国際ロータリー第2780地区第2グループのIMを開催いたしました。

今回のIMのテーマは「平和推進とアジアの現状」とし、第1部では国際ロータリーの平和の推進活動をパワーポイントによる映像で、歴史を追って進めました。第一次世界大戦をきっかけに平和への取り組みが進められたこと、そして第二次世界大戦後の国連の活動にも数多くのロータリアンを派遣し、平和や人道支援の活動に協力したことを改めて深く学び、心に刻みしました。

続くビデオレターでは、大船出身の財団学友の田中君による「気候変動による紛争の現状」を上映。彼は現在国際移住期間（IMO）エジプト事務所にて、気候変動の影響を受けた人々への支援活動に従事しています。

気候変動による自然災害で、干ばつが起き農地が荒廃し、食料不足から紛争が起きている現状。海面上昇で海洋資源の分配についての紛争が起きていること。国や地域のみでは解決できず、国際的な協力



が必要なことを強く訴えた内容を、ビデオで送ってくれました。

第2部は参議院議員の青山繁晴様にご登壇いただき、今の日本が抱えている問題点を、外交・危機管理・資源エネルギーなど多岐に渡って、「ここだけの話」を交えながら、大変貴重な講演をしていただきました。

常に会場を歩き回り、私たち会員の目前まで来て話されるパワーには皆圧倒され、ウトウトと目をつぶることさえ許されませんでした。

最後は、場所を移しての懇親会で、第2グループ会員同士大いに盛り上がりました。

昨年のファミリーデーはコロナ禍での制約もあり、そのぶん今年は懇親を深めることが出来ました。嬉しいことに、青山繁晴様も懇親会に出席いただき、各席を回り懇親を深めてもらいました。後日、自身のYouTubeでロータリーIMの事を楽しそうに語っておられました。

開催まで、テーマについては大丈夫か、動員は大丈夫かと、何かと不安でしたが、IMでの「学びと奉仕」は、私にとって強く記憶に残るすばらしい体験となりました。

今回のIMでは、佐藤ガバナーを始め、佐々木ガバナーノミニ、第3グループ永松AG、第4グループ當間AG、第5Bグループ杉崎AG、第6グループ富岡AGにご出席いただき深く感謝いたします。ありがとうございました。

最後に小山実行委員長を始め、ホストクラブの西村会長並びに鎌倉大船ロータリークラブの皆様のご尽力に、心から感謝とお礼を申し上げます。



## 『シュチェチンRCを通じたウクライナ発電機支援』

地区社会・国際奉仕委員会  
副委員長 **高木直之**  
(かながわ湘南RC)



ポーランド北西部の港湾都市シュチェチンのロータリークラブを通じ、同地に避難してきたウクライナの人々（母親と子供たち）の支援を田島ガバナー年度に行ったご縁で、送電施設を標的にされ電力不足に悩むブチャの人々に、発電機を送る支援の依頼を同クラブより受けました。佐藤ガバナーのご快諾を得て、昨年末各クラブにご案内したところ、183万841円が集まり、この度無事8台の発電機と、毛布（100枚）、非常食（2000個）、応急医療セットが、ウクライナに寄贈されました。左が、シュチェチンからウクライナへと送られた8台の発電機の写真です。



送金が2月にずれ込んだ関係で、発電機はブチャではなく、キエフ近郊のBoyarka地区の8つの学校に別々に寄贈されました。右の写真はそのうちの1校から届いたものです。子供たちの服装を見れば、今も随分と寒そうです。2つの学校からは礼状も届き、今も頻繁に起きる停電の中、発電機は子供たちの教育の継続に大いに役立っているとのことでした。地区内各ロータリークラブからいただいた義捐金は、行先こそ違え電力不足の中寒さに耐える子供たちに、電気を届けるために使われました。ここに御礼申し上げます。



当地区から贈ることができた発電機はたった8台かもしれませんが、その1台1台が、真っ暗なシェルターに明かりを、暖房でぬくもりを、携帯に充電を、PCに電気を届ける様子を、IMAGINEしてみてください。私にとって佐藤ガバナー年度は、それだけで「記憶に残る年」となりました。

左は、シュチェチンRCより当地区に寄贈されたService for Peace（平和のための奉仕）と書かれたトロフィーです。

一刻も早くウクライナに平和が訪れるよう祈りつつ、ボブディランの「風に吹かれて」からの一節を引用して結びとします。

いくつの海を渡れば、鳩は海辺に憩う  
友よ答えは風の中、風に吹かれている



# 『青少年交換派遣候補生 京都研修旅行』

青少年交換委員会  
委員長 **新井 智代**  
(藤沢南RC)



昨年11月に選ばれた青少年交換プログラムの派遣候補生は9か国（カナダ・メキシコ・ブラジル・台湾・ドイツ・イタリア・フランス・スウェーデン・デンマーク）に1名ずつの9名です。3月16日～19日、この9名と第2590地区の派遣候補生1名（エクアドル）の合同研修旅行が佐藤ガバナー・石田危機管理委員長・椋梨青少年保護役員・両地区青少年交換委員5名・ROTEX4名の参加の下行われました。3年ぶりに海外へ旅立つ15歳から18歳（出発時高校生）の派遣候補生は以下の目標をもって研修に臨みました。

1. 親善大使として、派遣国で日本の文化や伝統を紹介できるように知見を広げます。
2. 「戦争」に関して問われた場合、自分の言葉で意見を語れるよう知見を広げます。
3. 団体行動の中での協調性を高めます。
4. 自己表現の能力を高めます。
5. 積極的に参加して自分自身で経験の楽しさを広げます。

16日初日は佐藤ガバナーがご参加くださり、伏見稲荷神社訪ねた後、金欄緞子で有名な伴戸商店様で古帛紗作りを体験させていただきました。またこの会場をお借りして、各派遣生は一人ずつ自己紹介、柔道・合気道・剣道・書道・バレエ・ヒップホップダンス・大道芸など多彩な芸を披露しました。恥ずかしい気持ちを乗り越え、皆の前での自己表現に挑戦した学生達は一步自信を深めたように見えました。その後、鶴屋吉信で京和菓子作りの実演を見学、祇園を散策した後夕食は町家づくりの佳久様で美しい日本料理をいただきました。



2日目は宿泊した琵琶湖プリンスホテルから京丹波へと向かい、舞鶴引揚記念館でラーゲリ（第二次世界大戦時のシベリア強制収容所）での生活を復元した展示を見学しました。学芸員の方の熱い解説はその場にいた全員の心に大きく残りました。天橋立まで足を延ばし、サイクリング等を楽しんだ後ホテルへ帰って夕食。夜はROTEXの指導の下その日の見学からインスピレーションを得たものを分かち合う「平和学習」を行いました。活発な意見交換が行われ、自分の言葉で語ることの大切さを実感できた一日となったと思います。

3日目は東映太秦映画村内をグループごとに分かれて散策しながら、ROTEXから与えられたいくつかのミッションをこなすというイベントに取り組みました。学生達はチームワークの楽しさを存分に味わった後帰途につきました。

3日間の研修が無事に行われましたことを改めてご協力くださった皆様、特に第2650地区京都紫野ロータリークラブの皆様には深く感謝申し上げます。第2780地区の会員の皆様には引き続き、高校生の親善大使の応援をよろしくお願い申し上げます。



# 『地区インターアクトクラブ一泊研修報告』

インターアクト委員会

 副委員長 **工藤 元**

(相模原橋本RC)



今年度の地区インターアクトクラブ、合同一泊研修会が3/25日・26日、箱根は仙石原、星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブにて、地区内インターアクター、顧問教諭、学友会合わせ47名、ロータリアン、ローターアクター合わせ26名、総勢73名にて開催されました。

まずもって今回の一泊研修開催にあたり、ご協力、ご尽力いただきました施設の方々、ロータリアン、ローターアクター、そして学友会、参加インターアクター、全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

他事業同様、実に4年ぶりの開催となりました同研修会、当然の事ながらインターアクターに経験者がゼロ、文字通りゼロベースの中、有志による実行委員会の皆さんの奮闘は目を見張るものがありました。

三浦学苑、四分一実行委員長をはじめとした総勢16名の実行委員が、ほぼ全ての企画運営を担い、1月より10回以上の会議、準備を重ね、それぞれの役割分担に対し責任感を持ち、しっかりと取り組む中で一人ひとりの自主性、個性が良い形で出せた、とても良いチームでした。

勿論、完璧では無かったかと思いますが、当日の予定の変更やトラブルへの対応や順応力は素晴らしかったと思います。何より、参加したアクターが楽しく過ごし、交流を深めている姿がその答え。私評価では今期実行委員会、100点満点です。

失敗や経験こそが、人としての成長の糧。私たちロータリアンができることの一つとして、インターアクター、顧問教諭の声に耳を傾け、真摯に向き合い、青少年の成長の一端を担えるよう、より意味と意義のある、地区インターアクトプログラムの継続、そして、提唱クラブ、そして地区内クラブの一人でも多くのロータリアンの、より積極的な地区インターアクト事業への参画を願います。

最後に同一泊研修会、四分一実行委員長の振り返り、まとめをご紹介します。

今回の第2780地区インターアクト一泊研修では、学生を中心とした、とても学びある行事でした。スポーツを通して行なった交流では、勝負を取り入れた事でロータリアン・顧問・生徒が全力で参加していました。実行委員会では、事前準備から当日まで問題はあったものの全員が主体性を持って活動に励んでいたと思います。この場を提供していただいたロータリーには感謝いたします。ありがとうございました。

一泊研修実行委員会 実行委員長 四分一陽那汰

以上、今後とも、地区インターアクト委員会事業へのご理解とご協力そして参加をお願いいたします。





# 『会長エレクト研修セミナー(PETS)報告』

地区研修委員会

PETS担当 小山輝彦

(伊勢原平成RC)



2023年3月11日、会長エレクト研修セミナー(PETS)が藤沢商工会館ミナパークにおいて開催されました。会長エレクトが65名(欠席2名)、ローターアクター4名、地区関係者が75名の合計144名の参加となりました。

午前10時点鐘、まず佐藤祐一郎ガバナーより挨拶、続いて田島敏久ガバナーエレクトより、次年度RIテーマと地区運営方針・目標の説明がありました。ゴードンR.マッキナリー次年度会長は、混迷する昨今の世界情勢を踏まえ「世界に希望を生み出そう」というテーマを掲げられました。

その後、小沢一彦元RI理事並びに田中賢三研修委員会委員長から基調講演をいただきました。小沢元RI理事からは身近なエピソードをまじえ、幅広くロータリーについてお話いただきました。

また、田中委員長からは「Enjoy Rotary」というテーマでパワーポイントを使用しながら具体的でわかりやすくお話いただきました。

昼食後は8班に分かれ「クラブの役割と責務について(クラブの現状把握)」、「役に立つロータリーにするには」という二つのテーマについて地区研修委員がリーダーを務め、RLI方式によるディスカッ

ションが行われました。どの班も活発な意見交換がなされたようですが、今年は特にローターアクターの参加もあり、若い感性での新鮮な意見が印象的でした。

午後の全体会議では田島ガバナーエレクトの次年度地区事業、方針の発表の後、青少年奉仕、クラブ管理運営、公共イメージの各次年度委員長からの事業計画等の発表がありました。

その後、昨年までコロナにより実施されていなかった懇親会を2019年以来4年ぶりに実施し、大いに盛り上がりました。

最後に、会長エレクトの皆様にご記入いただいた評価書を拝見しますと、基調講演が分かりやすくなったなど、概ね好評の評価をいただきました。また、運営の方法など大変貴重なご意見もいただいたことに感謝し、今後の研修委員会の活動に役立ててまいりたいと思います。

会長エレクトの皆様もこのセミナーを終え、さらに地区研修協議会等において磨きをかけ、十分な体制で、ご自分の年度を迎えられることをお祈りいたします。



# 『第3回 国際ロータリー第3662地区・第2780地区 Zoom 女性交流会』

2023年2月27日、RI2780地区ガバナー事務所(会議室)において、姉妹地区のRI3662地区(韓国済州)と3回目となる「ZOOM女性会議」を開催しました。今回も情報交換や親睦を図る目的でZOOM交流会を行いました。

3662地区からは金慶蘭ガバナー、李姉妹地区委員長他13名が参加され、当地区からは佐藤ガバナー、佐野姉妹地区委員長、女性会員として北村副委員長、浜田、土佐、山谷委員、相模原ローターアクトの張旭会長他、合計15名が参加して、両地区からの質問形式で様々な意見交換をおこないました。



## 《質問内容 2780地区から(一部抜粋)》

- ・2780地区大会において女性交流会後の評価は？
- ・どのような同好会が人気か？

＜3662地区の回答＞ゴルフ・ダンス・絵画会・名文を模写する会など人気のあるものは継続している。

- ・3662地区では何故会員を増やし続けられるのか、具体的な方法は？

## 《意見交換風景》



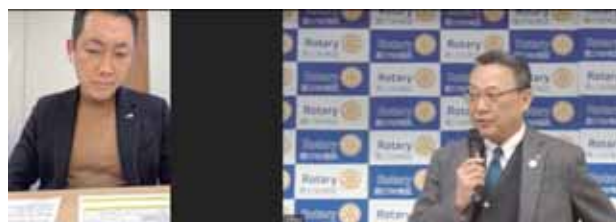
土佐委員 金ガバナー 北村副委員長 カン・マルレ



佐野委員長

山谷委員 金ヒョンジョン 金次年度地区幹事

両地区通訳 郭委員



## 《質問内容 3662地区から(一部抜粋)》

- ・3662地区の地区大会参加日程と女性交流会スケジュールレポートについて。
- ・2780地区の女性会員数の変動及び活動変化は？
- ・ローターアクトの活動状況について？
- ・23-24会期3662地区の姉妹地区との交流事業？



相模原ローターアクトクラブの皆様

## 《終わりに》

相模原RCから4人のローターアクト会員が出席し活動報告や3662地区のローターアクトの様子などを聞き、新たな視点や交流を得たと思います。又3662地区大会が5月15日から2泊3日で行われます。2780地区から大勢の方が参加し現地で女性文化交流会もおこなわれます。今回もZOOM 交流会は大変有意義な時間でした。今後もさらなる交流を続けていきたいと思います。

(記事山谷委員)



2780地区 Zoom 女性交流会会場



## 小田原ロータリークラブ

会長 高野 久 男

小田原ロータリークラブは1954年10月14日設立され来年には70周年を迎えます。次年度には70周年事業の準備をしなければなりません。その為、今期は佐藤ガバナーの掲げられた「取り戻そう！」を当クラブも活動指針に掲げ、先ずは会員間の心のソーシャルディスタンスを解放し小田原クラブのあるべき姿を取り戻すことを活動方針に掲げスタートしました。



現時点では会員数は目標の70名に少し届いてはいませんが、クリスマス家族親睦例会を念願のリニューアルされた宮ノ下の富士屋ホテルで、新年例会、お花見例会、姉妹クラブである京都南ロータリークラブ訪問と親睦事業を順調に行い、また奉仕事業では継続事業の市内幼稚園への図書の寄贈、新規で相洋高校での30名以上のロータリアンによる職業講話を開催する等、活発に活動してきました。さらに、4月からは米山記念奨学生でサウジアラビアから来ているヤラさんを迎え充実した例会を重ねています。

月曜日お近くにお越しの際は、ぜひ当クラブにお寄りください。



お花見



クリスマス



姉妹クラブ 京都南RC

## 湯河原ロータリークラブ

会長 青木 義 美

創立61年目、会員数23名（内女性3名）のクラブです。私自身もこのクラブへ入会させて頂き3年目でまだクラブ内容が全て把握出来ておりませんが、ロータリー歴20数年の目で紹介をさせていただきます。



驚いたのは飲み会がとても多い事です。親睦が奉仕の原点という考え方があるようですが私も入会3年目で会長職を務まっているのもこの親睦活動があるからではないでしょうか。ほんとにそんな意味ではフレンドリーなクラブです。湯河原南クラブが終結になって湯河原クラブへ再入会されたメンバーもいらっしゃいますが、クラブ内でのまともは素晴らしいものと感じています。又他クラブ全般が例会数を減らして新入会員の入りやすい環境作りに工夫されますが、湯河原クラブは月4回の例会を減らしておりません。その代わり出席率に苦言を呈する事はありません。あくまでも自主性を尊重しております。その代わり1ヶ月4回顔を合わせる機会は会員全員が持っている訳です。素晴らしい事だと感じています。又年1回ですが家族親睦旅行という企画があって家内もメンバーの皆さんと1日お付き合い出来るのも気に入っております。今後年に2回くらいはあってもいいのではないのでしょうか。又女性会員が3名おりますがRI会長の様に女性独特の「イメージ」で行動する人たちですのでクラブ内では女性特有のフレンドシップでクラブ内の和をとりもって頂いているのもクラブの特徴ではないのでしょうか。



私の会長職もあと3ヶ月、又クラブの別の顔が見れるか楽しみにしている毎日です。

## 箱根ロータリークラブ

会長 駒 篤 司

箱根ロータリークラブは小田原ロータリークラブをスポンサークラブとして1962年5月に発足し、昨年6月には創立60周年式典を開催いたしました。コロナ禍のため規模を縮小しての開催となりましたが、地元の社会福祉団体等へ軽自動車や発電機等の寄贈をするなど一定の成果をあげることができました。例会は伝統と格式のあるクラシックホテル「富士屋ホテル」で開催しています。ガバナー公式訪問の際にはR Iのテーマ「イマジンロータリー」に因んで「イマジン」を歌ったジョンレノン氏が滞在した客室を見学いただきました。



また、今年2月には箱根中学校の3年生49名をお招きして「テーブルマナー教室」を開催。この取り組みは当クラブの恒例行事でありましたが、コロナ禍の影響で4年振りの開催となりました。当日は会員も生徒と同じテーブルにつき、講師の解説とアドバイスを受けながら和気あいあいとフルコースを楽しみました。新世代奉仕活動の一環としてこれからも継続して参りたいと思います。



ポリオ募金活動 箱根湯本駅



台北大同RC来訪



ガバナー訪問

## 小田原北ロータリークラブ

会長 小 林 淳 一

当クラブはコロナ禍が明けつつある今年度、会長の方針タイトルでもある「RESTARTの年にしよう」を合言葉に、活動が停滞し無気力になっていたクラブ内の雰囲気は払拭するかのよう前向きな活動を再開しています。

年度当初より全ての活動をリモートからリアルに転換し、ロータリーの根幹の一つでもある会員間の親睦が一層深まるよう心がけ、家族を伴う親睦旅行では何十年振りかで一泊の京都旅行を計画するなど、例年以上に楽しくなる様にし、友好クラブとの交流も再開、その甲斐もありコロナ前のクラブの状況に戻っています。



奉仕活動に関しては外部団体の都合もあり、まだまだ上々と言えない部分を残しつつも会員全員が参加できる良い形で行っています。

真面目に楽しくロータリーを！小田原北ロータリークラブはそんなクラブです。



家族親睦旅行で京都へ(伏見稲荷神社)



肥後大津ロータリークラブへ(熊本城)



メンバーと共に小田原城清掃活動



## 小田原城北ロータリークラブ

会長 櫻井 康二

小田原城北ロータリークラブは1976年4月に創立し、今年度で48年目を迎えます。会員数は41名（内女性会員3名）、平均年齢が約55歳で、明るく活気に溢れる風通しの良いクラブです。

今年度は佐藤ガバナーの指針「取り戻そう!」「記憶に残る年にしよう!」とあるように、奉仕活動では、鴨宮駅にて「END POLIO NOWキャンペーン」の募金活動を行い、また、親睦活動では3年ぶりに会員の奥様・米山学友も参加しての忘年家族会、新年会なども開催し、4月には創立記念例会も行いました。

IM・合同例会ではホストクラブを担当させて頂きました。また、当クラブが提唱しております、小田原城北ローターアクトクラブが地区大会のホストクラブを担当させて頂き、多くの会員がローターアクトの地区大会に協力致しました。

年間の活動も残り少しですが、会員増強などクラブ活動に会員一丸となって取り組みたいと思います。



忘年家族会



ポリオ募金



IM

## 小田原中ロータリークラブ

会長 吉澤 芳之

当クラブは東大阪東RC様と2005年より友好クラブ締結しており、好意と友情を深めるため毎年交流会を実施してまいりました。しかしコロナ感染の流行に伴い世の中が閉鎖的になり、当然ながらこの3年間は交流会を控えておりました。



本年度になり行動制限も大分緩和され、両クラブで慎重に協議した結果、交流会を再開しようとなり本年は当クラブが大阪へ訪問してまいりました。

懇談会でお互いのクラブの近況を報告しあい、例会に参加し、懇親会と大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

翌日はゴルフコンペを開催し2日と短い時間でしたが多くの学びを頂きました。

この3年間の友情を取り戻し、更なる友情を確認し大阪を後にしました。来年は小田原の地へお越しになりますので、今からとても楽しみです。



## 足柄ロータリークラブ

会長 勝又辰美

足柄ロータリークラブは1990年に創立以来本年で33年を迎えております。

その間、10周年記念事業にネパールへ消防車両の寄贈、国際交流「米づくり」、国際交流アドベンチャー等を行い、また近年のコロナ禍に於いては、30周年事業として地域小中学校へ消毒液の寄付など、多彩な活動を行ってまいりました。

現在は小学校への図書寄贈事業、2007年度からの継続事業として、自然資源の大切さを認識してもらうため、地元の中学生と共に水源地上流部へブナの木を植林を行う「水源の森を訪ねて」を、環境保全や青少年育成プログラムの一環として行っております。

足柄ロータリークラブは現在少人数ですが、バランスのとれた良いクラブだと思います。今後も、会員増強はもとより会員相互の和を大切にしたい例会運営を行ってまいります。



## 国際ロータリー2780地区・国際奉仕リソースネットワークのご案内

地区社会・国際奉仕委員会 委員長 山口 俊明（藤沢東RC）

### 「リソースネットワーク」創設の目的と主旨

本年度より地区社会・国際奉仕委員会は地区ホーム・ページに「リソースネットワーク」を創設致します。地区内の各クラブがこのネットワークを活用し、従来にも増して積極的に国際奉仕活動を行うことが出来るように願っております。

地区ホーム・ページをより生きた情報インフラとして位置づけ、実際の奉仕活動に役立つ「専門知識」や「活動実績の経験」を有する地区内の様々な人材（リソース）をネットワーク化し、必要な知見を共有財産として情報の集約を進め、各クラブがそうした「リソース」に容易に、かつ必要な時にはいつでもアクセス出来る「ネットワーク媒体」がスタートします。

「事例紹介」では、地区内の各クラブによる活動実績を具体例として簡潔にまとめ一覧出来るようにしており、今後の各クラブでの新規活動の参考にして頂ければ幸いです。

地区のガバナー補佐やクラブでの国際奉仕委員長もすべてこのネットワークに包摂され、自らも積極的に発信することで、「リソースネットワーク」の活性化の重要な構成メンバーとして参加していただくことを切望します。



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



かしわい たかし  
**柏井 貴志**  
①相模原橋本  
②2022. 05. 19  
③不動産仲介  
④関根雅吾郎、  
原 幹朗



かさい たろう  
**河西 太郎**  
①相模原橋本  
②2022. 06. 18  
③織物製造  
④原 幹朗



むらかみ まみ  
**村上 真美**  
①相模原橋本  
②2022. 6. 18  
③書道家  
④関根雅吾郎、  
沼尾一喜



やまもと ひさき  
**山本 尚毅**  
①相模原橋本  
②2022. 09. 15  
③地方銀行  
④櫻木達矢



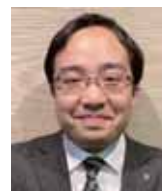
きだ かおり  
**貴田 香織**  
①相模原橋本  
②2022. 09. 22  
③旅館・ホテル業  
④名高裕子



ひらやま やすのぶ  
**平山 易申**  
①相模原橋本  
②2022. 11. 04  
③信用金庫  
④本間英和



くぼしま はやと  
**窪島 勇人**  
①藤沢北西  
②2022. 11. 17  
③管工事業  
④伊澤孝次



おおはら よしたか  
**大原 義隆**  
①座間  
②2023. 03. 01  
③弁護士  
④樋田一徳



いしはら けん  
**石原 健**  
①秦野中  
②2023. 03. 10  
③建築板金  
④蒲山哲司



なかむら やすし  
**中村 靖**  
①寒川  
②2023. 03. 13  
③建設業 推進工事  
④金子一茂、  
山本和好



なかじま きよみ  
**中島 清美**  
①鎌倉中央  
②2023. 04. 01  
③飲食業  
④小西美恵子



にしむら こうじ  
**西村 浩司**  
①藤沢東  
②2023. 04. 01  
③金融業  
④山口俊明



たぶち えみ  
**田淵 恵美**  
①イノベーション  
ゲートウェイ湘南  
②2023. 04. 01  
③教育  
④田淵勇太



きかわ だいすけ  
**木川 大輔**  
①平塚西  
②2023. 04. 01  
③産業廃棄物処  
理・リサイクル業  
④石井 翼



ながた じゅんいち  
**永田 準一**  
①足柄  
②2023. 04. 01  
③建設業  
④勝又辰美、  
井上勝典



おおたに まこと  
**大谷 真**  
①小田原  
②2023. 04. 03  
③ビジネスサービス  
④河野精一郎



やまぐち ともひこ  
**山口 友彦**  
①相模原中  
②2023. 04. 04  
③金属加工業  
④河野 崇、  
横江利夫



ふるや かおり  
**古屋 香織**  
①相模原中  
②2023. 04. 11  
③フォークブレンダ  
④取住悦子、  
横江利夫



いとう ともはる  
**伊藤 智晴**  
①相模原南  
②2023. 04. 18  
③証券  
④徳久京子、  
藤原新一



はっとり ともたか  
**服部 智任**  
①海老名  
②2023. 04. 17  
③医師  
④高橋裕之、  
武井哲也



「22-23 新会員's VOICE 第5Bグループ」



地区会員増強委員会  
You Tube

今回は、第5Bグループの新会員さん  
のインタビューが新着UP!  
動画はこちらから。過去の動画も  
観られます。チャンネル登録・動画  
への「いいね」もお願いいたします!

[https://youtube.com/channel/  
UCR2fp4or99NLh-35uFoNdSA](https://youtube.com/channel/UCR2fp4or99NLh-35uFoNdSA)  
(地区会員増強委員会チャンネル)

平和を願い、大斉唱

平塚湘南ロータリークラブ(小沢博会長)が3月18日、フィリピンシキホール島で「届け愛と平和のハーモニー～鍵盤ハーモニカコンテスト」を開催した。現地の小・中学校、高校に通う児童・生徒1200人が、平塚から贈られた鍵盤ハーモニカで美しい音色を響かせた。

鍵盤ハーモニカは地域のボランティア団体「浜岳リーダーズクラブ」や市外の団体を通して小学校などから集めたものを譲り受け、平塚湘南RCがシキホール島に送った。

「厳しい教育環境にある人たちに支援の輪を」と始まったこの取り組みは2014年から続けられ、これまでに500台以上が届けられている。

現地では楽器の指導者がいないため平塚湘南RCがボランティアを派遣。当日は指導を受けた子どもたちが、フィリピン国歌などの課題曲を踊りや鼓笛隊のパフォーマンスを交えて演奏した。またロシアのウクライナ侵攻を受け、ジョン・レノン『イマジン』を会場全体で合唱し平和への思いを届けた。

平塚湘南RCは「寄付品を集めてくれた平塚の子どもたちに感謝。これで終わりにせず、日本とフィリピンの交流をもっと深めていきたい」と思いを込めた。

# 第2780地区 2023年3月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数									
			3月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
			男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員
1	横 須 賀	4	114	16	114	14	5	2	5	0	0	2
	横 須 賀 北	3	18	5	19	4	1	1	2	0	-1	1
	三 浦	5	41	5	29	1	12	4	0	0	12	4
	横 須 賀 西	4	12	0	12	0	1	0	1	0	0	0
	横 須 賀 南 西	4	13	1	10	0	3	1	0	0	3	1
	計		198	27	184	19	22	8	8	0	14	8
2	鎌 倉	3	78	15	76	15	2	0	0	0	2	0
	逗 子	5	39	3	41	4	0	0	2	1	-2	-1
	鎌 倉 大 船	5	15	0	14	0	1	0	0	0	1	0
	葉 山	5	21	4	20	4	1	0	0	0	1	0
	鎌 倉 中 央	2	21	7	21	7	2	0	2	0	0	0
	計		174	29	172	30	6	0	4	1	2	-1
3	藤 沢	4	43	13	42	13	7	1	6	1	1	0
	藤 沢 西	3	18	1	17	1	1	0	0	0	1	0
	藤 沢 東	4	28	7	30	7	1	0	3	0	-2	0
	藤 沢 北 西	4	17	1	12	0	6	1	1	0	5	1
	藤 沢 南	3	48	8	40	7	9	2	1	1	8	1
	ふじさわ湘南	4	35	1	35	1	1	0	1	0	0	0
	かながわ湘南	3	19	12	20	12	0	0	1	0	-1	0
	アーカス湘南	5	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	イノベーションウェイ湘南	2	37	2	29	1	9	1	1	0	8	1
	かながわDEI	1	26	9	25	9	6	3	5	3	1	0
計		274	56	253	53	40	8	19	5	21	3	
4	茅 ヶ 崎	4	43	5	40	5	4	0	1	0	3	0
	寒 川	3	35	2	31	1	4	1	0	0	4	1
	綾 瀬	3	35	0	35	0	1	0	1	0	0	0
	茅 ヶ 崎 湘 南	3	45	1	42	1	3	0	0	0	3	0
	茅 ヶ 崎 中 央	3	51	3	49	3	2	0	0	0	2	0
	綾 瀬 春 日	4	25	1	24	1	1	0	0	0	1	0
計		234	12	221	11	15	1	2	0	13	1	
5A	相 模 原	4	66	6	68	6	2	0	4	0	-2	0
	相模原グリーン	3	45	3	49	4	0	0	4	1	-4	-1
	津 久 井 中 央	4	24	4	25	3	1	1	2	0	-1	1
	相 模 原 橋 本	4	67	10	66	9	5	1	4	0	1	1
	相模原ニューシティ	2	45	6	39	5	6	1	0	0	6	1
	相模原おださが	2	32	1	0	0	32	1	0	0	32	1
5B	相 模 原 南	3	47	9	48	9	1	0	2	0	-1	0
	相 模 原 中	3	26	3	25	3	1	0	0	0	1	0
	相 模 原 西	4	42	5	41	4	2	1	1	0	1	1
	相模原西令和大野ロータリー衛星	0	6	2	8	4	0	0	2	2	-2	-2
	相 模 原 東	2	17	4	18	4	2	0	3	0	-1	0
	相 模 原 柴 胡	4	27	3	26	2	1	1	0	0	1	1
相模原かめりあ	1	22	22	23	23	0	0	1	1	-1	-1	
計		466	78	436	76	53	6	23	4	30	2	

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数									
		3月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減		
		男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	
6	厚 木	3	37	2	39	2	1	0	3	0	-2	0
	大 和	3	36	6	34	5	2	1	0	0	2	1
	座 間	5	33	3	27	1	7	2	1	0	6	2
	大 和 中	4	26	1	25	1	1	0	0	0	1	0
	厚 木 中	3	21	2	23	2	0	0	2	0	-2	0
	大 和 田 園	4	27	2	30	2	0	0	3	0	-3	0
	海 老 名	2	49	5	47	5	2	0	0	0	2	0
	海 老 名 樺	4	35	5	34	5	2	0	1	0	1	0
	厚 木 県 央	3	41	5	38	3	3	2	0	0	3	2
	本 厚 木	2	36	5	35	4	2	1	1	0	1	1
計		341	36	332	30	20	6	11	0	9	6	
7	秦 野	3	50	7	50	7	1	0	1	0	0	0
	伊 勢 原	4	47	3	48	3	0	0	1	0	-1	0
	秦 野 中	5	35	1	36	2	2	0	3	1	-1	-1
	伊 勢 原 中 央	2	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	秦 野 名 水	4	15	7	15	7	0	0	0	0	0	0
	伊 勢 原 平 成	3	21	2	20	1	1	1	0	0	1	1
計		180	20	181	20	4	1	5	1	-1	0	
8	平 塚	4	62	6	62	4	4	2	4	0	0	2
	大 磯	3	14	3	15	2	1	1	2	0	-1	1
	平 塚 北	3	35	6	36	6	0	0	1	0	-1	0
	二 宮	2	10	3	8	2	2	1	0	0	2	1
	平 塚 西	3	26	1	30	1	0	0	4	0	-4	0
	平 塚 湘 南	3	50	9	47	8	3	1	0	0	3	1
計		197	28	198	23	10	5	11	0	-1	5	
9	小 田 原	3	66	5	63	5	5	0	2	0	3	0
	湯 河 原	4	23	3	23	3	0	0	0	0	0	0
	箱 根	2	34	2	35	2	1	0	2	0	-1	0
	小 田 原 北	4	28	2	28	3	1	0	1	1	0	-1
	小 田 原 城 北	3	41	3	42	3	2	0	3	0	-1	0
	小 田 原 中	4	49	6	49	6	3	0	3	0	0	0
足 柄	4	18	1	18	1	0	0	0	0	0	0	
計		259	22	258	23	12	0	11	1	1	-1	
総 計		2,323	308	2,235	285	182	35	94	12	88	23	

ロータリークラブ名	男女 合計	女性 会員	ロータリークラブ名	男女 合計	女性 会員	ロータリークラブ名	男女 合計	女性 会員
相模原RAC	26	13	鎌倉RAC	5	3	横須賀RAC	10	3
小田原城北RAC	5	2	厚木中RAC	4	1	合計	50	22

地区内クラブ	地区内会員総数(人)
67	2,323(308)

( )内は女性会員

本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員数増減数(人)
182(35)	94(12)	88(23)

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2022~2023 Governor

Yuichiro Sato

■OFFICE / Aizawa Bldg. #1, 5F,  
22-7-501 Minami-Fujisawa,  
Fujisawa-city, Kanagawa  
251-0055 JAPAN  
Tel: +81-466-25-8855  
Fax: +81-466-25-8866



IMAGINE  
ROTARY

2022~2023年度ガバナー

佐藤 祐一郎

■事務所 / 〒251-0055  
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階  
Tel: 0466-25-8855  
Fax: 0466-25-8866  
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp  
URL: https://rid2780.gr.jp